



あなたはどの州に留学する？
～州別の教育のツヨミ～

クイーンズランド州 Queensland

スタイリッシュな都会の雰囲気とグレート・バリア・リーフに代表される美しく壮大な自然を併せ持つ環境、“Sunshine State”と呼ばれるほど過ごしやすい温暖な気候、日本から直行便が発着している空路のアクセスの良さ…あなたも“クイーンズランド・ライフ”を体験してみませんか？

編集協力：クイーンズランド州政府



クイーンズランド州での生活

クイーンズランド州には日本からの直行便が到着する2つの国際空港(ケアンズ国際空港、ゴールド・コースト国際空港)があり、オーストラリアの中で最も日本に近い州といえます。また、毎年多くの日本人が訪れているブリスベン、ケアンズ、ゴールド・コーストは、国際的な観光地として広く知られています。クイーンズランド州はこれらの代表的な街を含め、大きく5つの地域に分けられます。

北部熱帯地域

グレート・バリア・リーフへの玄関口となるケアンズは、州北部の熱帯地区の中央に位置しています。世界遺産に登録された湿潤熱帯雨林や内陸に広がる壮大なアウトバックへのアクセスも便利です。熱帯の海岸地区には穏やかな雰囲気を持つタウンズビルがあります。

中央部

ゴールドラッシュで栄えたロックハンプトンはカントリー風の雰囲気が味わえる街で、毎週のようにロデオ大会が開催されています。その周囲は広大な大地と美しい森林、白い砂浜、青い海に囲まれています。

南東部

州の南東に位置する州都ブリスベンは、オーストラリア第3の都市です。「ガーデン・シティ」として知られるトゥーンバは中小都市としては最大級で、歴史的建造物や150以上の公園が点在しています。

サンシャイン・コースト

サンシャイン・コーストは国内外の人気を集める観光地です。小規模の街で美しく壮大な自然に囲まれながら、ゆったりとしたライフスタイルが楽しめます。

ゴールド・コースト

白い砂浜や大自然の中で多種多様なアクティビティが楽しめるゴールド・コーストは、住民の約4分の1が外国出身者という多文化都市です。



? Why QUEENSLAND

- ① 2015年には、ブリスベン国際空港にも日本とオーストラリアを結ぶ直行便が就航する予定で、さらにクイーンズランド州が身近な場所になる。
- ② クイーンズランド州の中学・高校は、生徒のスキルや興味を優先するために、多種多様な科目を提供している。特に、スポーツや音楽、演劇などのプログラムが数多く組まれている。
- ③ 国内でも先進的な教育の品質管理システムを導入しているクイーンズランド州なら、柔軟かつ最高レベルの教育が受けられる。

クイーンズランド州の小・中・高校留学

クイーンズランド州はこれまで25年以上にわたって日本人留学生の受け入れを行っており、特に「小・中学生、高校生の留学先に最適な州」といわれています。治安の良さや美しい自然、日本人が馴染みやすい土地柄など、その理由はさまざまですが、クイーンズランド州教育省国際部門 (EQI = Education Queensland International) による万全なサポート体制が最大の「ツヨミ」です。EQIは、充実したスタディツアーやプログラムの提供、各校への留学生専任サポートチームの派遣、厳選されたホストファミリーの紹介など、留学生サポートを最優先事項として扱っています (詳細は56ページ)。

また、2014年からクイーンズランド州の公立高校は、生徒の英語能力を判断する基準として英検を認定しました。Year10は英検準2級で、Year11は2級、Year12は2級Aの英検級として認定されています。



再編によってさらなる発展を遂げたTAFE QLD

2014年にはクイーンズランド州のTAFE (公立総合専門学校) が再編され、「TAFE Queensland」として生まれ変わりました (85ページ参照)。この改革によって、コースやプログラム、サポート体制も強化・発展し、よりレベルの高いスキルや知識を勉強できる環境が整いました。

TAFE Queenslandでは、ビジネス、アート、IT、観光、調理、保健・医療など、さまざまな専門分野のコースが開講されています。クイーンズランド州のTAFEには130年の

歴史があり、800を超えるプログラムで25万人以上の学生が勉強しています。TAFEのコースでは、日本の高校レベルの初歩的な資格から大学院レベルのものまで、幅広いレベルの資格を取得できます。

また、クイーンズランド州には、TAFE以外にも航空関連やアロマセラピー、観光業、ビジネス、デザイン、ホスピタリティなどの特定分野を専門にした私立専門学校もたくさんあります。



河野 麻子 さん
TAFE Queensland
応用ファッションデザイン&テクノロジーのアドバンス・ディプロマ

クイーンズランド TAFE 留学体験

日本でファッション小売業やファッション雑誌の出版社で働いたあと、大学で美術史の勉強をするためにオーストラリアに留学しました。将来、ファッションを創り出す仕事をしたいと考えていたので、その後、TAFEクイーンズランドに入学しました。入学前にあまり縫製の経験がなかったので、実践的な授業と少人数クラスは自分にぴったりでした。先生たちは経験豊富で、学生がそれぞれの目標を達成できるよう、自分の知識と経験を活かした指導をしてくれます。

TAFEクイーンズランド卒業後は、学校が提携するファッション業界の企業Glitter and Danceでまずアルバイトとして働き、同じ年に正規の社員として採用されました。ブリスベンにある家族経営の会社で、1994年以来ダンス用の生地を販売していますが、お客様が自分の希望に合ったダンスの衣装を作るお手伝いもしています。Glitter and Danceは、TAFEクイーンズランドでファッションを学ぶ学生や卒業生にインターンシップや仕事の機会を定期的に提供しています。今の職場では、デザインやCADを使った型紙づくりから製造過程まで、学校で勉強したスキルを活用することができ、TAFEクイーンズランドを選んで本当に良かったと思っています。



あなたはどの州に留学する？
～州別の教育のツヨミ～

西オーストラリア州 Western Australia

「教育都市パース構想」を掲げる西オーストラリア州への留学生数は年々増加しており、パースの5つの大学、専門学校、英語学校などで、140を超える世界の国々から年間47,000人以上の留学生を迎え入れています。海外出身者が人口の30%以上を占めるパースの人々は、留学生を温かく迎え入れてくれます。

編集協力：西オーストラリア州政府



再開発によりさらなる発展を遂げるパース

最近のパースでは州政府による再開発が進んでおり、さらに便利で洗練された都市へと発展しています。リバーサイド・プロジェクトでは、これまで隔てられていたパース中心部とスワン川を結びつけ、その入り江には商業施設や住宅が建設されます。また、360°見渡せる小島が生まれ、電車やバス、フェリーなどの公共交通機関に簡単にアクセスできるようになります。シティリンク・プロジェクトでは、フリーマントル路線を地下に設置し、レストランやカフェなどが集まるノースブリッジ地区と市内中心部を、約100年ぶりにつなげます。これらの大型プロジェクトによって、新しいパース・スタジアムやパース・アリーナなどの建築物の工事が続々と完了しています。



▲ Perth Arena



▲ New Perth Stadium

学生割引で利用できる公共交通機関

パースはコンパクトな街の中に、電車やバス、フェリーなど、公共交通機関が機能的に整備されているため、どこへ行くにもとても便利です。共通チケット (SmartRider card) を1枚持っていれば、すべての公共交通機関を自由に乗り降りすることができます。留学生は学生用 SmartRider card を使えば、すべての公共交通機関を4割引きの料金で利用することが可能です。また、市内の中心部は“CAT (Central Area Transit)”と呼ばれる無料の巡回バスや路線バスが走っています。

実は、留学生生活にかかる費用の3番目に当たるのが「交通費」です。無料や割引料金で利用できるパースの公共交通機関は、留学生にとって非常にありがたい存在といえるでしょう。



▲ CAT はパース駅を中心に、市の商業中心地域を通り東西に走る Red、Redの北側を東西に走る Yellow、市を南北に走る Blue、北西を繋ぐ Green の4系統あります。

留学生にとっても恩恵が得られるパースの好景気

西オーストラリア州はオーストラリア国内で最も経済成長を遂げている州であり、年々発展を続けています。この好景気によって留学生にも恩恵が与えられており、留学中のアルバイトの時給はA\$15〜25と日本と比べて高時給が得られます。

また、西オーストラリア州の目覚ましい経済発展は、ヨーロッパやアジア、アフリカから多くの人を引き寄せ、今では州人口の約3割は国外出身者で占められています。このような多様で変化に富んだ文化がインターナショナルな環境をつくり出しています。

? Why PERTH

西オーストラリア州政府は、マスターコースやPhDコースで学ぶ留学生の扶養家族の学費を無料にしており、これはオーストラリア国内では西オーストラリア州だけ。これらのコースに通う留学生の12年生(日本の高校3年生)までの扶養家族が公立校に入学する場合、学費は州政府が負担してくれる。

パースのヒトコト知識

オーストラリアの国土の3分の1	WAの人口の80%がパースに居住	他州に比べ、日本人が少ない	アルバイトの平均時給A\$19.70	雇用成長率3.4% (国内+0.6%)
-----------------	------------------	---------------	--------------------	---------------------

パースに留学した体験者が紹介する

Welcome to PERTH♡



©City of Perth

西オーストラリア州に留学した理由

私は中学2年生のときに会った英語科の先生がきっかけで、留学を志すようになりました。その先生はオーストラリア留学の経験があり、英語はベラベラで考え方も日本人らしくなく、海外渡航経験のない私にとっては憧れの存在でした。英語の授業の形式も斬新で、従来の授業では良いとはいええない成績だった私が、学年トップクラスまで上りつめました。そういった経験から「オーストラリアへ留学すれば先生のようになれるかもしれない」と思い、留学を目指して英語を勉強するようになりました。西オーストラリア州への留学を決めた最大の理由は、「日本人留学生が少ない」という点でした。

Let's GO!



紹介してくれるのは
瀬戸口さつきさん

関西外国語大学に入学後、2013年7月からThe University of Western Australian (UWA) に留学。Indigenous Studyを専攻し、Double degree取得を目指す。



1

①キングスパーク (Kings Park) から見たパースの高層ビル群。ここからの景色はポストカードによく使われています。



2

②私の留学先UWA。この建物はWinthrop Hallと呼ばれていて、式典等が開催される建物です。



3

③UWAで日本語を学んでいる現地学生とラーメンを食べに行ったとき。お互い英語と日本語を教え合ったり、こまったときには助けてくれたりと心強い仲間です。

西オーストラリア州の大学での勉強

日本では受け身の授業が一般的ですが、西オーストラリア州の大学での授業は学生の発言で成立しているといっても過言ではありません。教授が講義を行う合間に、学生には自分の意見を発することが求められ、それによって授業が進んでいきます。また、普段の勉強も与えられた課題をこなすだけでは十分ではありません。内容に関連した最近のニュースなども、ある程度は知識として知った上で授業に出席しないと、ディスカッションに入れません。慣れない間は戸惑いましたが、日本に比べて自由な授業形式のため、どの発言も貴重な意見として受け入れてもらえることに気づいてからは気持ちが楽になりました。



④コテスロービーチ (Cottesloe Beach) という、パースで一番人気のビーチです。ここからの景色もよくポストカードに利用されています。



⑦パースの港町フリーマントル (Fremantle) の街並み。カフェの並ぶこの通りはカプチーノ通りと呼ばれています。



⑥上記のツアーで訪れた Lancelin という漁師町で。このツアーに参加して、西オーストラリア州でツアーガイドとして働きたいという気持ちが強くなりました。



⑤友人と参加した日帰りツアーで、有名な観光地であるピナクルズ (Pinnacles) を訪れたとき。現在では、この場所でサンセットを見るツアーを担当しています。

⑧勉強のためにインターン先の本社があるシドニーで。ガイド業のコツをしっかりと学んできました。



⑨日本の豪華客船「飛鳥II」と。乗船していたお客様をピナクルズにご案内しました。初のVIPのアテンドだったため終始緊張しましたが、やりがいのある仕事でした。

夢はオーストラリアでのツアーガイド

私は2013年12月から、現地の日系旅行会社でインターンシップをしています。幼いころから憧れていたツアーガイドとして、日本からのお客様をパース近郊の観光地にご案内しています。ハイレベルな「おもてなし」に慣れている日本の皆様をご案内するのは簡単ではありませんでしたが、今ではVIPのお客様のアテンドを任されることもあります。将来はこの経験を活かして、オーストラリアで日本人ツアーガイドとして活躍したいと思います。パースで経験を積み、いずれはアポリジニの聖地エアーズロックのある北部準州のガイドとして活躍するのが私の夢です。

本誌掲載の西オーストラリア州教育機関

StudyPerth	95ページ	Navitas	101ページ
Education and Training International	96ページ	Kaplan International English	102ページ

StudyPerthのウェブサイトは、
西オーストラリア州政府公式留学サイトです。
www.studyperth.com.au

{Study}Perth
Australia

